

奈良育英中学校・高等学校

NARA IKUEI Jr. HIGH SCHOOL & Sr. HIGH SCHOOL



a l w a y s c h a l l e n g i n g



SCHOOL GUIDE 2023



since 1916

創部

Cheerdance Club

IKUEI's challenge



ユネスコ委員会



誕生

奈良育英のさらなるチャレンジ

e-SPORTS

次世代

中学1年

聞く力・調べる力・学ぶ力の育成

『HOW TO LEARN(どのように学ぶか)』

中学1年次は探究の進め方の基礎を学び、社会的課題の中からテーマを見出し、総合的な探究(学習)の時間を進めています。

第一線で活躍する
社会人による講義

淡路島新入生研修

マナー講座



中学2年

体験する力・考えを整理する力の育成

『WHAT TO LEARN(何を学ぶか)』

中学1年次に学習したことを活用し、自然の中での体験活動を通して「共生」「協働」の観点を学びます。また、「里山と私たちの生活」をテーマに、人や社会、自然の一員として何をすべきかを考えていきます。

無人島体験

農業体験

自然散策



中学3年

比較する力・伝える力の育成

中学3年次は中学1・2年次での学習の成果を整理・分析して「文化」をテーマに総合的な学習を進めます。協働を通して他者との関係構築力を育成し、多様性こそ発展の要因であることを認識します。

修学旅行(現地生徒交流)

異文化理解

論文作成



奈良育英探究—SDGs—

高校1年

聞く力・捉える力・伝える力の育成

持続可能な社会の実現を目指す実践者の講義を通して、探究に対する「考え方」を学びます。また、身近な出来事から課題を発見し、仲間と共に解決方法を考えていく姿勢を身に付けます。

ユネスコスクール
講演会

ワーク
ショップ

クロス
カリキュラム



高校2年

課題を設定する力・命を考える力の育成

「命」をメインテーマに、「環境問題」「人権問題」「貧困問題」等、自身の興味関心に基づく課題を設定します。それぞれの分野における専門家や機関との連携を通し、社会における自己を認識していきます

外部講師の
後援会

各専門家
との協働

海外への
修学旅行



高校3年

生き方を考える力の育成

『HOW TO LIVE(どのように生きるか)』

「世界市民としてどう生きるか」をテーマに総合的な学習の時間・総合的な探究の時間を進めます。この世界で自己をどのように活かしていくか、未来を主体的に切り拓く姿勢を創ります。

論文作成

進路実現



歴史と伝統 恵まれた教育環境



グラウンド

古都・奈良の中心部、閑静な文教地区にあって、長い伝統を持つ奈良育英。

近隣には緑豊かな奈良公園があり、東大寺、春日大社等、様々な歴史遺産や文化施設が点在しています。

教育の場にふさわしい恵まれた環境のもと、学内の施設も充実し、生徒たちは真摯な態度で学校生活を送っています。

奈良育英は、すべての生徒の明日を支えるために教育環境こそ大切であると考えます。



正門



中庭



学園創設者像



エントランス



プール



体育館



図書室



調理室



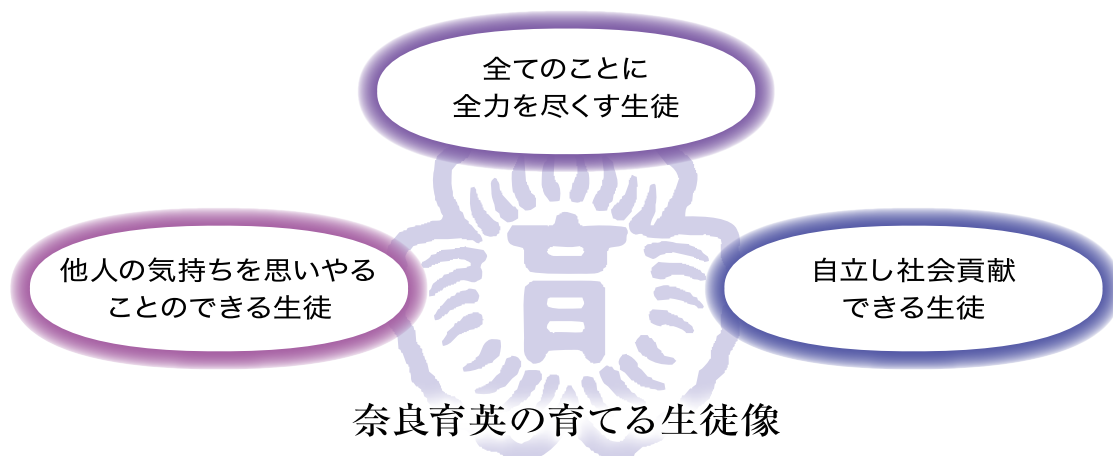
AL教室



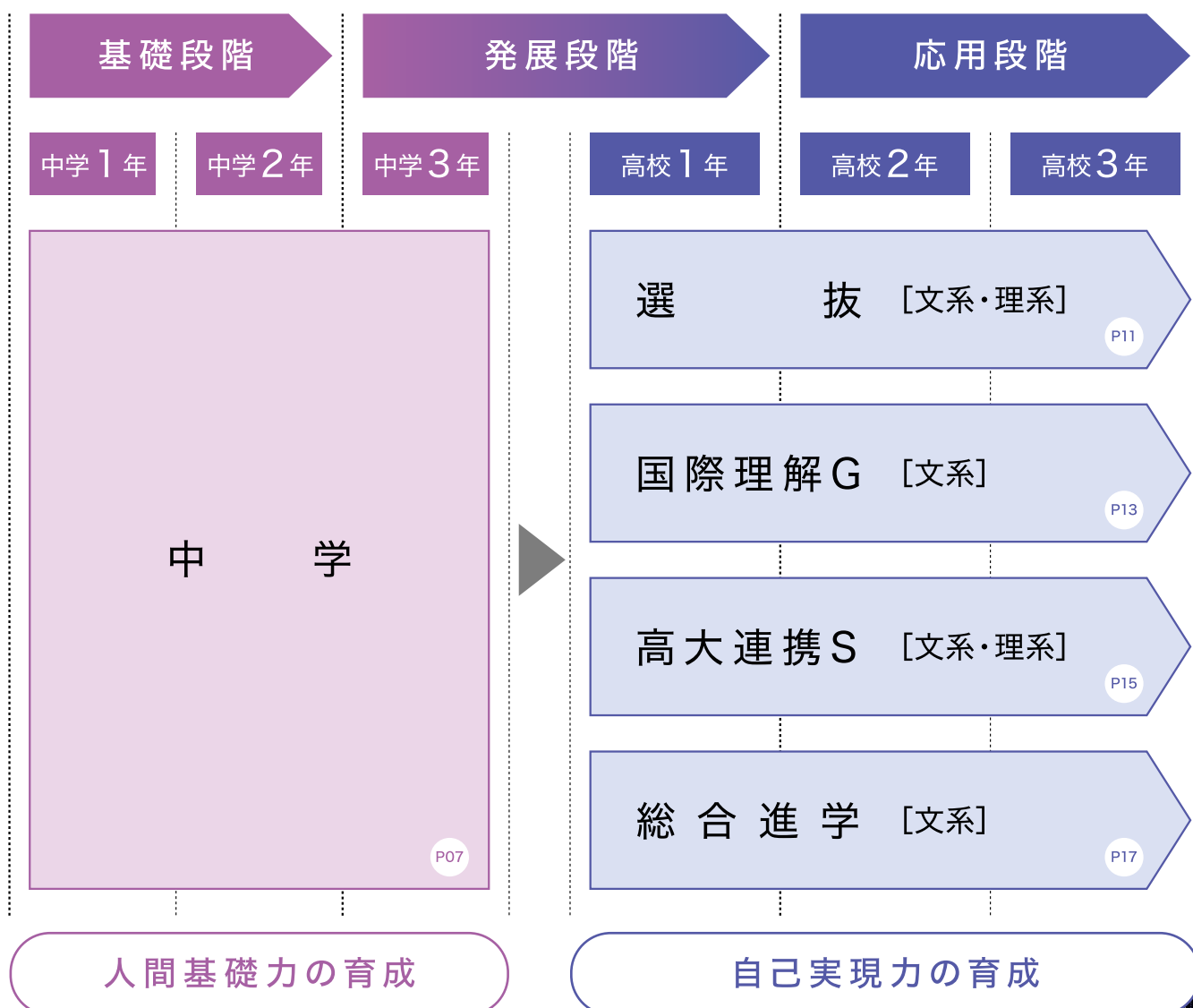
茶室

計画的な6年間で学力を確実に身につける

中高一貫システム



奈良育英では、中高一貫教育を実践します。中高の6年間は基礎(中学1・中学2)・発展(中学3・高校1)・応用(高校2・高校3)の3段階に分かれます。基礎段階では生活・学習の基礎づくり、発展段階では自分自身を見つめ、将来を考え、それに備えた高度な学力を養います。応用段階においては、目標達成のための2年間、進路に応じた科目選択によりゆとりをもった希望の進路達成を目指します。



共に夢を育む

Teacher's Voice

協調性を養い
健全に生きる力へ

国語科 楠田 翔太



2020年度から導入された「大学入学共通テスト」では、さまざまな文章を読解する中で「思考力・判断力・表現力」といった能力が要求されるようになりました。以前より求められていた力でもあります。これらは、これからの社会を生き抜いていくためにより欠かせないものとなるでしょう。そこで私たち国語科は、「論文」を通して「論理的に思考し表現する力」を、「小説」を通して「他者の心情や思考を読み取る力」を育てます。また、総合的な言い方をすれば、「国語」を学ぶことで古今の多くの人の考えに触れ、複眼的な視野で物事を捉えられる人材を輩出することを目標にしています。この学びのすべては、社会を豊かに生きていく力にしっかり繋がっています。国語科に所属している先生方は、皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。さあ、私たちと共に奈良育英で学びましょう！



Teacher's Voice

数的思考を養い
社会で生きる
力につなげる

数学科 東浦 将太



2020年度から大学入試が大きく変わりました。「知識・技能」だけでなく、大学入学段階で求められる「思考力・判断力・表現力」を一層重視されています。そこで私たち数学科は、日々の授業の中で、「考える」ことを1つの柱として生徒たちの指導にあたっています。計算問題を解く、あるいは図形の問題を解く、関数の問題を解く。どんな問題にも、どのような道筋を立て、どのような予測を立てるかを考えることが大切です。本校の数学科の授業では、ペアワークやグループワークを積極的に取り入れ、クラスメートや他の人の考えを学ぶ機会を多くしています。その中で、より思考力をつけることを目標としています。1つの解法にしたがって解くのではなく、問いから解に至るまでの道筋を「考える」ことでこれからの社会に求められる思考力や判断力につなげていきたいと考えています。



中学・高校時代は「こうなりたい」という強い気持ちが芽生える頃。
学業やクラブ活動など、誰もがそれぞれのフィールドで個性を充分発揮出来るよう
力強くサポート。一人ひとりの可能性を共に育てていきます。



Teacher's Voice

多文化共生の 世界を 生きるために

英語科 永野 佑樹



英語と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか? 文法・長文読解・リスニング・入学試験・海外の企業など様々なものが考えられると思います。本校ではコミュニケーションと論理・表現を軸に英語の授業が行われますが、「英語は生きているもの」として扱います。自分の気持ちを表現するツールとしてその使い方・技術を学び、同時に自分の幅を広げる教科であると言えるでしょう。本校では英語を通して周りの人や行動の意図を感じ取り、相手とも自分自身ともコミュニケーションを取りながら、社会における諸問題の発見及び解決法を探し求める姿勢を身に付けていきます。世界中の人々や多くの物事に触れて自分の世界を広げられるように、ぜひ奈良育英中学校・高等学校で一緒に学び続けていきましょう。

Teacher's Voice

探究心を養い 持続ある未来を 創造していく

理科 田中 俊也



理科の授業では、「なぜ?」と疑問に思うことを大切に授業展開しています。昨今では「持続可能な社会を目指して」というフレーズをよく耳にしますが、その上で科学の力は必要不可欠です。奈良育英中学校・高等学校では、理科の授業で「なぜ?」と疑問に感じたことを理科の授業だけではなく、総合探究の時間でも学ぶことができます。また、実験・観察を通して生徒の根底にある探究心に火をつける・気づかせることも授業のテーマとしています。探究心が芽生えることで、探究活動への活力となり、継続することで、新学習指導要領の3つの柱の1つである、学びに向かう力に繋がると考えています。将来、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか、そのために必要な力を、本校で一緒に考えていきましょう。

進路指導

進路指導

きめ細かな

尊重した

個性と志望を



キャリア教育

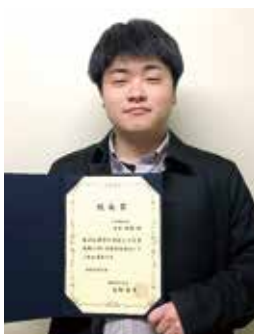
進路指導部では、進路説明会や講演会を定期的に行い、進路指導に役立つ情報をタイムリーにお伝えしています。進路指導室は資料が充実しており、情報を必要なだけ手に入れることができます。たくさんの方の知識を吸収しながら、高校生活で何を身に付ければ良いのか、友人や先生と一緒に考えながら、一人ひとりのキャリアパスを見える化していきます。これからの社会では、変化に対して主体的に向き合い、試行錯誤を重ねながら未知の課題に対応したり、多様な他者と協働して新しい何かを生み出したりすることが求められます。言語技術やグローバルな学びに加え、講演会や体験活動に参加するなど、ホンモノに触れる環境の中で多様な価値観を養います。

受験体制

昼休みや放課後になると、進路指導室は面談や質問をする生徒であふれ返ります。平日の放課後は19時まで、希望者を対象に進学補習を実施しています。特に高校3年生には、国公立大対策・難関私立大対策・大学入学共通テスト対策など、さまざまな講座を用意しています。1講座から受講可のアラカルト方式により、自習や習い事と組み合わせるなど、自分の生活リズムに合わせて学習ができます。また、補習開講中は自習室の開放をしています。自習室は私語厳禁。友人が黙々と頑張る姿を見ながら切磋琢磨しています。高校生活で出会った仲間はよく理解者であり、よくライバル。受験は団体戦。チーム奈良育英で戦います。

Graduates' Voice

チャレンジを続ける先輩たち。奈良育英での体験が未来への原動力のひとつとなっています。



高校での成功体験を、夢の実現へ繋げていきます

東北大学大学院 工学研究科
博士後期課程3年 川本 弘樹
(2013年度卒業)

私は高校生活で、自身の努力と、その努力を応援してくれる環境が合わさって、初めて輝かしい実績が生まれることを実感できました。奈良育英高等学校は、こうした学生の努力にしっかり応えてくれる環境です。高校に入って何をやるの

か、何がしたいのかを考えて積極的に学ぼうという姿勢があれば様々な未来の可能性を発見できます。東北大学では本総長賞受賞・首席卒業をし、現在は社会貢献に向けて放射線関連技術の普及を目指し研究を進めています。



自分の可能性を信じて目標に突き進むことで、「生きる力」を培うことができました

京都大学大学院
文学研究科 思想文化学専攻 日本哲学史専修
博士課程3年 山本 舜
(2013年度卒業)

軽音楽部に所属しながら勉強を続け、愛媛大学に合格しました。奈良育英の先生方はとても熱心で、在学中は勉強・部活動の指導は勿論、その根底にある「人として生きる上で大切なこと」にもハッと気づかされるような、そんな真

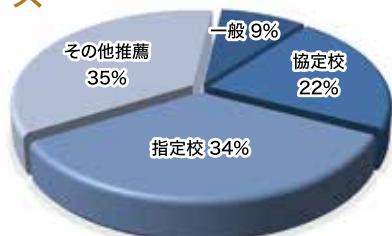
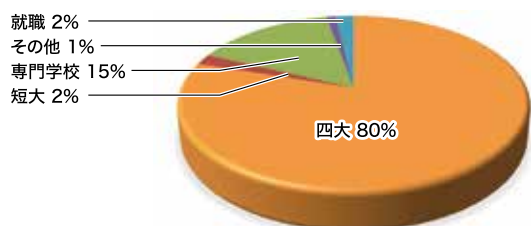
摯な指導を受けることができました。卒業後もここで得た精神を忘れず努力し続けたことで、大学は学部首席で卒業することができました。現在は地元に戻って来て、大学院で勉強を続けています。

2022年度大学進学状況

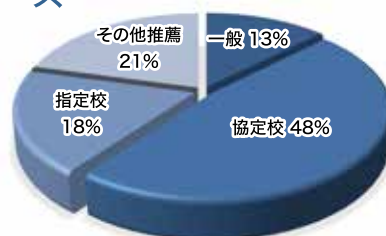
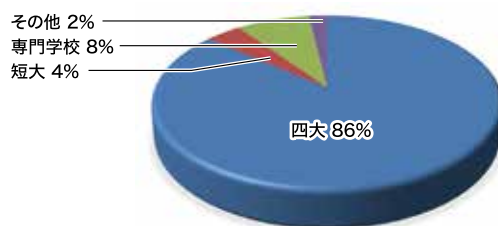
WEBからもご覧いただけます



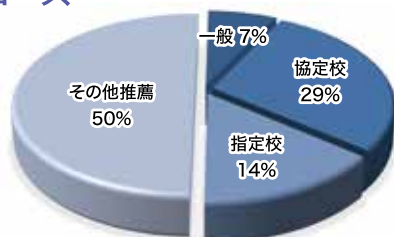
総合進学コース



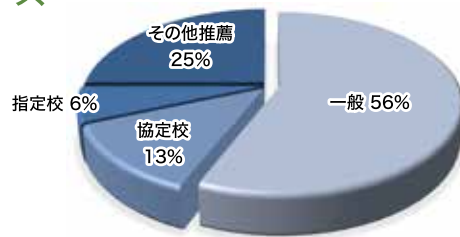
高大連携Sコース



国際理解Gコース



選抜コース



高大連携協定校以外の 指定校推薦

同志社大学
関西学院大学
立命館アジア太平洋大学

京都産業大学
甲南大学
大阪工業大学

京都女子大学
関西外国語大学
桃山学院大学

同志社女子大学
武庫川女子大学
など

※2022年度入試分 ※一部抜粋

留学・多文化理解

カナダ短期留学プログラム

本校には、1年間の留学と数週間の短期留学のプログラムがあります。1年間のプログラムでは、オーストラリアの公立高校で、正規留学生として一般家庭にホームステイをしながら学びます。短期プログラムでは、カナダのバンクーバーでホームステイをして、午前中は語学学校で英語を学び、午後や週末は、様々なアクティビティに参加して多文化体験をします。

多文化理解について

奈良育英の多文化理解教育の一つに、高校2年次における海外への修学旅行と、人権教育ホームルームで行う平和学習との連携した取り組みがあります。海外といえば「観光地」のイメージが強く、それぞれの歴史を深く考える機会はなかなか日常ではありません。生徒たちは、2学期のホームルームを通じて、他国の歴史・言語等、そして現状をグループに分かれて調べ、学年全体でプレゼンテーション大会を行って知識を共有します。そして、3学期の修学旅行では、実際の建造物や人々との交流を通して異文化に触れ、自分たちの学んだことを検証します。本校では、このような「学習」と「実地演習」の連携した取り組みからも、多文化理解を展開しています。





夢に向かって走り出す体育部

多くのプロ選手を輩出しているサッカー部をはじめ、体育部は強豪揃い。全国大会出場、さらに全国優勝を目指して、日々練習に励んでいます。





©JGA

CLUB

体育部

● 中学校 ■ 高校

- | | |
|--------------|----------------------|
| ● ■ 男子サッカー | ● ■ テニス |
| ● ■ 女子サッカー | ● ■ なぎなた |
| ■ 男子バスケットボール | ■ 陸上競技 |
| ■ 女子バスケットボール | ● ■ 水泳 |
| ● ■ 柔道 | ● ■ 軟式野球 |
| ● ■ 剣道 | ■ バドミントン |
| ● ■ ゴルフ | ■ 女子バレーボール |
| ● ■ 卓球 | ■ 男子バレーボール |
| ● ■ 女子ソフトテニス | ● ■ チアダンス NEW |





CULTURE

豊かな心を育む文化部

好きなことに打ち込む文化部も、全国レベルで活躍中。
同じ目標を持つ仲間と協力し合い、
切磋琢磨しながら、自分を高めています。





CLUB

文化部

● 中学校 ■ 高校

- | | |
|-----------|--------|
| ● 情報技術 | ● 茶道 |
| ■ 軽音楽 | ● 鉄道研究 |
| ● 書道 | ● 邦楽 |
| ● 英会話 | ● 美術 |
| ● 囲碁・将棋 | ● 調理 |
| ● サイエンス研究 | ● 人権研究 |
| ● 文芸 | ■ 写真 |
| ● 吹奏楽 | |



先輩からのメッセージ

学業とクラブを一道にしてハツラツと学園生活をおくる先輩たちからのメッセージです。



中学
3年

ゴルフ部
土井 稀世

部活動をする事で時間の使い方のメリハリがつけられるようになったと感じています。学業の計画を立てているうちに、ゴルフのコースマネジメントもできるようになりました。また、高校生の先輩方と一緒に活動しているので、言葉遣いや立ち居振る舞いなど、たくさん学ぶことができます。



中学
3年

剣道部
伽羅 宗吾

全国中学校剣道大会に出場することを目標に、全員で丸一となって頑張っています。挨拶や礼儀作法などが身につくので、充実した日常生活を送ることができています。高校生の先輩方との距離が近く、絆が深まっていることも魅力の一つです。部活動と勉強のメリハリをつけてこれからも頑張っていきたいと考えています。

高校
2年

バスケットボール部
国際理解Gコース
梅本 奏夏太

一つの目標に向けて一生懸命に打ち込むことは、時に辛いこともありますが、その分達成感や精神的な成長を感じることができます。また、学校生活や勉強あってこそその部活動であると認識しているので、決して何事も手を抜くことなく頑張っています。全国大会への出場を目指して仲間とともに頑張りたいと考えています。



高校
2年

軽音楽部
高大連携Sコース
斉木 万鈴

限られた時間の中で何を意識し、何を積み重ねたら結果が出せるのかクラブで学びました。礼儀作法や集団で自分を活かす方法等、学業とクラブ活動のすべてが勉強で、「生きる力」につながっているとわかりました。全国大会やグランプリ大会を目指しながら、心に残る最高の演奏を目指していきたいと思います。



推薦入試Ⅱ型（高校）

※詳しくは入試広報部までお問い合わせください

趣 旨

本人の入学の意思が固く、文化・体育活動において優秀な技能や技術を持ち、入学後も当該クラブ活動を継続し、また主体的かつ積極的に学業や課外活動に取り組む意志のある生徒をこの制度により広く求めます。

出願資格

- 2023年3月中学校卒業見込みの者で、所属中学校長の推薦がある者
 - 本校クラブ顧問と事前協議を済ませた者
 - 本校を専願で希望し、合格した場合必ず本校に入学する者
 - 本校が定める条件を満たしている者
- ※推薦入試制度の資格を認定された者は、合格基準点を優遇します。

対象クラブ

- サッカー（男女）
- テニス（男女）
- ソフトテニス（女子）
- 陸上競技（男女）
- バスケットボール（男子）
- 剣道（男女）
- 柔道（男女）
- ゴルフ（男女）
- 軽音楽（男女）
- 吹奏楽（男女）



高校
2年

陸上部
選抜コース
吉田 美杏

学業と部活動の双方を頑張ることで、時間の使い方を意識するようになりました。どちらも日々の積み重ねが大切だと思うので、小さな積み重ねを大事にしています。今後は、一緒に頑張っている仲間たちと全国駅伝に出場することを目標に頑張りたいです。



高校
2年

サッカー部
総合進学コース
奥村 央樹

サッカーの技術力だけでなく、人間性の成長を感じることができます。日々の挨拶や礼儀、清掃など当たり前のことを徹底的に行うことで、学校生活を有意義に過ごしています。今後は全国大会へ出場し、昨年度よりもよい成績を残すことを目標に頑張りたいと考えています。

女子硬式テニス部
選抜コース
松倉 寧音

学業だけでは得られない精神面の強化や時間の有効的な使い方など、様々な力を身につけることができます。技術力の差はありますが、全員仲が良く、自らの技術力の向上に一生懸命取り組んでいるところが魅力です。今後も全国大会に出場し、良い成績が収められるように頑張っていきたいと考えています。



高校
3年

吹奏楽部
国際理解Gコース
近藤 朱里

事前にしっかりと計画を立てることで、部活動と学業を両立することができています。また、地道に努力を重ねることで部活動で全国大会に出場できたり、英語の成績が伸びたりしています。今後は、関西大会で金賞を受賞することを目指して頑張っていきたいと考えています。



高校
3年



高校
3年

バドミントン部
高大連携Sコース
尾島 巳和

学業と部活動の双方を頑張ることで、短時間で一つの物事に集中する力が養われたと感じています。筋力トレーニングや基礎練習でも決して手を抜くことなく、全力で取り組んでいます。これから仲間たちと切磋琢磨しながら技術を磨いていきたいと考えています。



高校
3年

女子ソフトテニス部
総合進学コース
木村 光玖

全国大会を目指してクラブ活動で一生懸命頑張ることで、やりがいを感じられるようになりました。自分の成長を実感しながら、勉強にも集中して取り組めるようになりました。毎日クラブから帰ったら授業の復習をしっかりとやっています。自分の成績が伸びていることがわかるので学校生活が楽しいです。

制服

凛々しく清らかに誇りを身にまとう

清々しさの中に気品と知性を感じさせる制服。奈良育英の伝統の重みを物語ります。



中学校

SUMMER



中学校

WINTER



高等学校

SUMMER



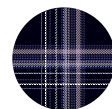
高等学校

WINTER



オリジナルのチェック柄

スコットランド・キンロックアンダーソン社認定のオリジナルタータンチェック





奈良育英中学校・高等学校 統括
奈良育英高等学校 校長

沼田 守弘



奈良育英中学校 校長
奈良育英高等学校 副校長

米田 安男

本校は大正5年、藤井高蔵先生・ショウ先生が奈良市花芝町に私立育英女学校を設立されたことを起首としています。その後、時代につれ変遷を経て、昭和22年に奈良育英中学校が、その翌年に奈良育英高等学校が設置され、3万人を超える卒業生を世に輩出して参りました。

本校の建学の精神は「完全なる人格の育成」であり、教育理念を「人間一人ひとりが、みなその中に持っているすぐれた素質を、人間として真に英でたものになるよう育て養う」という奈良育英学園の校名に由来したものとしています。創立以来、今なお「育英誓願」として具体的に謳われ、すべての生徒と教職員の願いが込められています。

また本校は完全なる人格の育成を目指し、「命の教育」を学校教育の柱としています。そのためESD(持続可能な開発のための教育)を推進する学校として、持続可能な開発のための社会づくりの担い手を育てる取り組みを推進しています。本年3月には文部科学省からユネスコスクール・キャンディデートの承認を受け、ユネスコスクールの正式加盟に向けて準備を進めています。

奈良育英学園創立106年目となる今年度は、389名の新入生を迎えてスタートしました。歴史と伝統を大切に、新しい教育内容や指導方法等を交えながら奈良育英中学校・高等学校の更なる発展に努めて参ります。

最後に、受験生の皆さん、奈良育英中学校並びに、奈良育英高等学校の門を、どうか思い切って叩いてみてください。心よりお待ちしております。

奈良育英学園の歴史

1916年(大正5年)	藤井高蔵・ショウ夫妻、奈良市花芝町に私立育英女学校を設立
1923年(大正12年)	現在の校地(奈良市法連町)に校舎を新築移転 奈良育英高等女学校を設立(育英女学校は奈良育英裁縫女学校、奈良育英実践女学校と改称し昭和18年までに奈良育英高等女学校に併設)
1944年(昭和19年)	藤井家の寄付により設立者を財団法人奈良育英高等女学校とする
1947年(昭和22年)	学制改革により奈良育英中学校を併設(男女共学)
1948年(昭和23年)	設立者を財団法人奈良育英学園と改称 奈良育英高等学校を設置(男女共学)
1951年(昭和26年)	学校法人奈良育英学園となる
1953年(昭和28年)	奈良育英幼稚園を設置
1956年(昭和31年)	奈良育英小学校を設置
1983年(昭和58年)	育英西中学高等学校(女子)を奈良市三松4丁目に設置
2016年(平成28年)	学園創立100周年

育英誓願

私達は常に意を誠にし 完全の道を篤く信じ
世界四聖の心を慕い 問学修行に精を尽くし
家を敬愛し国を敬愛し 凡ての隣を敬愛して
万事に完全を期せんことを 誓願いたします

教育方針

育英の教育は神を信じ人を愛し道義を重んじ
真理を愛し職分を貴び勤労を楽しむ精神を
涵養し完全なる人格を育成する事を目標とする

育英誓願とは

理想の人間教育の目的(教育方針)を達するために、前理事長(藤井長治)が当時の全職員と共に立てた誓願です。

年間行事スケジュール

中学生 Jr. HIGH SCHOOL



4

- ・始業式
- ・入学式
- ・オリエンテーション(1年)
- ・健康診断
- ・スポーツテスト
- ・創立記念日
- ・宿泊研修(1年)
- ・校外学習(2・3年)
- ・授業参観
- ・育英会総会

5

- ・防災訓練
- ・中間考査
- ・修学旅行(3年)
- ・無人島研修
- ・里山実習

6

- ・体育集会
- ・授業参観
- ・学級懇談会

7

- ・期末考査
- ・連絡会(三者懇談)
- ・終業式
- ・夏期補習・特別授業

8

- ・夏期補習・特別授業
- ・夏期体験学習

9

- ・始業式
- ・蕨咲祭(文化祭)

10

- ・体育祭
- ・中間考査
- ・実践交流(1年)
- ・職場体験(2年)
- ・授業参観
- ・奈良学(3年)

11

- ・プレゼンテーション大会
- ・文化行事

12

- ・期末考査
- ・連絡会(三者懇談)
- ・終業式

1

- ・始業式
- ・カルタ会

2

- ・耐寒行事
- ・生徒会役員改選
- ・防災訓練

3

- ・期末考査
- ・卒業式
- ・修了式
- ・春期補習・特別授業

授業やクラブ活動の他に、様々な行事を予定しています。

生徒達がそれぞれの個性を発揮しながら、仲間と交流を深め、友情を育む場となるよう考えています。

文化祭や体育祭、修学旅行など、かけがえのない仲間達と共に取り組んだ体験は一生の思い出になるでしょう。

Sr. HIGH SCHOOL 高等学校

始業式・
入学式・
オリエンテーション(1年)・
健康診断・
スポーツテスト・
創立記念日・
宿泊研修(1年)・
校外学習(2・3年)・
授業参観・
育英会総会・

4

防災訓練・
中間考査・
生徒会役員改選・

5

体育祭・
マナー講習会・

6

期末考査・
連絡会(三者懇談)・
終業式・
夏期補習・特別授業・

7

国際協働プレゼンテーション大会・
(国際理解Gコース)
夏期補習・特別授業・

8

始業式・
董咲祭(文化祭)・

9

中間考査・
大学見学会(1年)・

10

プレゼンテーション大会(3年)・
文化行事・

11

期末考査・
連絡会(三者懇談)・
終業式・
プレゼンテーション大会(1年)・
国際協働プレゼンテーション大会・

12

始業式・
国際理解Gコース留学開始(1年)・
プレゼンテーション大会(2年)・

1

球技大会・
防災訓練・
卒業式・
期末考査(2年)・

2

期末考査(1年)・
修学旅行(2年)・
修了式・
春期補習・特別授業・

3



持続可能な開発のための社会づくりの担い手を育てる

本校はSDGs (Sustainable Development Goals) を基に、ESD (Education for Sustainable Development) を指標とした教育活動を展開しています。本教育は環境、貧困、人権、開発など、様々な世界規模の持続可能な開発につながる諸課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むものです。本教育によって課題解決に向けた新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な開発のための社会づくりの担い手を育みます。

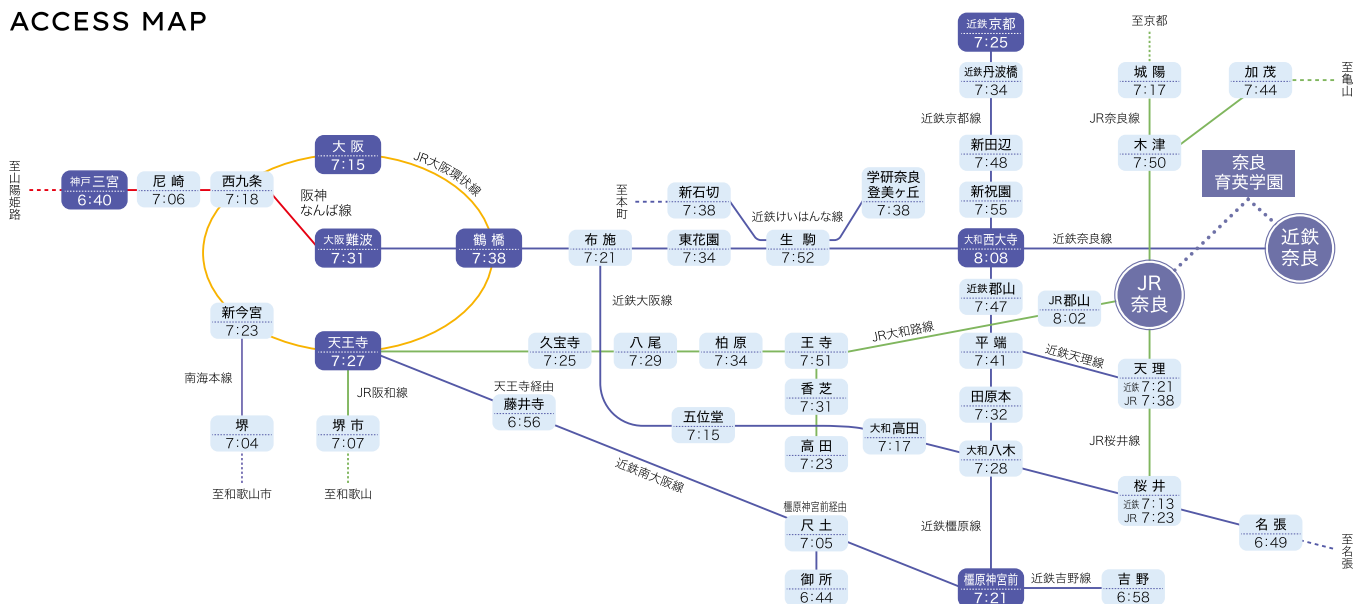


持続可能な
開発目標
(SDGs)

大阪・京都・神戸から、便利なアクセス

※各駅の時刻は始業時刻(8:30)に間に合うための時刻です

ACCESS MAP



JR奈良駅より登校

- 駅から約1.4km 東側改札口を出て北へ向かい、船橋通りを抜けて大仏鉄道記念公園を右折し、南門から入る。
- バス 約10分 奈良交通バス西口⑮番のりばから「西大寺駅」行き、または「航空自衛隊」行きに乗りして「育英学園」で下車。

近鉄奈良駅より登校

- 駅から約800m 西改札口を出て地下通路を⑦番出口から北へ約800m。二つ目の信号を渡り左折、南門から入る。
- バス 約5分 奈良交通バス⑬番のりばから「西大寺駅」行き、または「航空自衛隊」行きに乗りし、「育英学園」で下車。



学校法人 奈良育英学園

奈良育英中学校・高等学校

NARA IKUEI Jr. HIGH SCHOOL & Sr. HIGH SCHOOL

〒630-8558 奈良市法蓮町1000番地

TEL 0742-26-2845 (代表) / FAX 0742-27-2433 (代表)

<http://www.ikuei.ed.jp>

